

CPA通信

2008年6月

Vol.49

努力と成果の《時間差》を 今期業績で実感すると見えるのは？

◆本レポートの内容◆

- 【1】フランチャイズ事業の経営指導員の独白と発見
- 【2】今期の業績は今期に作られたものではない…？
- 【3】行動力は“頭”からではなく“腹”から出る！
- 【4】分かったことを繰り返し意識し直すことの効果
- 【5】過去業績の“振り返り方”が大きな差を生む！

“当たり前”への気づきが、業績改善行動の第1歩になることがある。その“当たり前”とは“今期の業績は必ずしも今期の活動の結果ではない”という現実だ。

もし前期以前の活動蓄積の結果が今期に出るという時間差関係が当たり前なのだとしたら、長期的視点の重要性はもちろん、すぐに成果が出ないように見える“今”の努力の意味も見える！

発行



経営改善に取り組みませんか。

島田公認会計士・税理士事務所

〒923-0938 石川県小松市芦田町2丁目12番地

TEL 0761-22-0043 FAX 0761-21-0243

e-mail info@ss-cpa.jp

URL <http://www.ss-cpa.jp/>